

北海道園芸研究談話会 研究発表要領【対面開催】

1. 課題名・発表者名について

- 1) 会報原稿作成要領を参考にするとともに、作物名（カタカナ）・用語は園芸学会に準じ、品種名は‘○○○’と表記する。所属名は別表を参考に略称表記とする
- 2) 課題名は発表内容を的確に表現した簡潔なものとし、商品名・商標名は使用しない。
- 3) 筆頭の発表者および演者は本会の個人会員（普通・学生会員）であることを要する。
- 4) 共同研究者名を列記する場合は、その研究内容に権利と責任をもてる範囲とし、発表内容について事前に全員の了解を得ておく。
- 5) 発表申し込みされた演題及び発表者名、発表者名の順位は変更を認めない。各連名者にも十分確認しておく。
- 6) 発表者の所属は研究発表時のものとする。

2. 使用機材とプレゼンテーションソフトウェア

- 1) 会場で用意する機材はノートパソコンに接続した液晶プロジェクターとする。
- 2) ノートパソコンは事務局で用意した Windows 機（OS は Windows 11 以降）を使用し、個人のノートパソコンは使用しない。
- 3) プレゼンテーションソフトウェアは Microsoft PowerPoint（PPT）（Microsoft365 MSO ver.2508：最新バージョン相当）を使用する。発表者は作成したファイルが Windows 版の PPT で正しく動作することを事前に確認する。
- 4) メディアは、Windows 機で読み取り可能な USB フラッシュメモリのみ（事前に動作確認やウイルスチェックを必ず行うこと）とし、発表者が用意する。読み取りに専用ソフトが必要なものや Mac フォーマット、DVD-ROM は読み取れない場合があるので使用しない。プレゼンファイルは、プレゼン時に USB メモリから直接開きます（USB2.0 および USB3.0 ポートを使用）。メモリの紛失にご注意ください。管理徹底をお願いいたします。

3. プレゼンテーションファイルの仕様

- 1) できるだけ Microsoft PowerPoint（PPT）で作成する。互換ソフトで作成した PPT ファイルは、事前に動作確認を十分に行う（スライドのサイズ指定を「標準（4：3）」で作成ください）。
- 2) 発表に使用する USB メモリには発表に使用するファイルのみを入れ、ファイル名には課題番号（通し番号）を入れる。
- 3) ファイル容量は可能な限り小さくし、大きくても 20MB 以下にする。デジタルカメラで撮影した写真やスキャナなどで取り込んだ画像の貼り付けはファイルが大きくなりやすいので、解像度に問題がない範囲で圧縮する。
- 4) アニメーションの多用や動画の使用は、誤操作と時間のロスにつながるので控える。
- 5) 発表の課題名と発表者名は、講演申込時に報告したものとし、変更は認められない。
- 6) 年の表記は西暦とする。
- 7) パソコンとの接続不良など不測の事態に備えて、別の USB メモリにコピーして持参（ファイルのバックアップ）されることを推奨します。（バックアップ USB もウイルスチェックを行うこと）

4. 映写準備

- 1) 発表者は、一つ前の発表が始まるまでに、各会場前方の PC 係に USB メモリを渡す。
- 2) 会場には液晶プロジェクター1台とノートパソコン2台を用意してある。
- 3) PC 係は、発表者から受け取った USB メモリをパソコンに挿入し、直接読み込んで映写する（パソコンのハードディスクにはコピーしない）。
- 4) 発表中のパソコン操作は発表者自身が行う。
- 5) 次の発表者の分は映写係がもう一台のパソコンに USB メモリを挿入してディスプレイ上で動作確認し、一枚目のスライドが出た状態で待機する。

5. 発表時間

- 1) 一鈴 10 分、二鈴 12 分、三鈴 15 分とする。二鈴までに発表を終えるようにする。
- 2) 課題数が多いときは発表時間を短縮することがある。この場合、プログラム公開時に表示する。

(2025 年 9 月作成)

別表

北海道園芸研究談話会報における所属機関の略称表記法 (2022年3月)

分類	略称	正式名称
学 校 関 係	北大院農	北海道大学大学院農学研究院
	北大農	北海道大学農学部
	北大院環境	北海道大学大学院環境科学院
	北大北方生物圏セ	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
	帯畜大	帯広畜産大学
	酪農大	酪農学園大学農食環境学群
	拓大道短大	拓殖大学北海道短期大学
	北教大	北海道教育大学
	弘前大	弘前大学
	道立農大	北海道立農業大学校
	八紘学園	学校法人八紘学園 北海道農業専門学校
	〇〇高	〇〇高等学校
試 験 場 関 係	農研機構北農研	農研機構 北海道農業研究センター
	農研機構東北農研	農研機構 東北農業研究センター
	農研機構野菜花き部門	農研機構 野菜花き研究部門
	農研機構生研セ	農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター
	道総研農研本部	道総研農業研究本部
	道総研〇〇農試	道総研 〇〇農業試験場
	道総研花野菜技セ	道総研 花・野菜技術センター
	道総研工試	道総研 工業試験場
	道総研林試	道総研 林業試験場
	原子力環境セ	道総研 原子力環境センター駐在
普 及 関 係	〇〇農改	〇〇農業改良普及センター本所
	〇〇農改××	〇〇農業改良普及センター××支所
	〇〇農試技術普及室	北海道農政部技術普及課(〇〇農業試験場駐在(技術普及室))
	道技術普及課	北海道農政部技術普及課
市 町 村	〇〇市(町・村)××部(課)	〇〇市(町・村)××部(課)
農 協 系 統	JA〇〇	〇〇農業協同組合
	JA北空知広域連	北空知広域農業協同組合連合会
	ホクレン農総研	ホクレン農業総合研究所
	北海道農済	北海道農業共済組合連合会
財 団 ・ 社 団 法 人	(公財)北農会	公益財団法人 北農会
	ノーステック財団	公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター
	(一財)北海道農業企業化研	一般財団法人 北海道農業企業化研究所
	(一社)北海道植防	一般社団法人 北海道植物防疫協会
	(一社)〇〇	一般社団法人 〇〇
農 業 者 (法 人)	法人名	
農 業 者 (個 人)	〇〇農園(農場、果樹園、他)	(〇〇には姓などが入る)
民 間 ・ そ の 他	(株)〇〇	株式会社〇〇
	〇〇(株)	〇〇株式会社
	〇〇セ	〇〇センター

学 校 関 係 : 道内の大学、大学校、専門学校、高校等については簡略に標記する。道外の学校は〇〇大などと簡略表記に努める。

試 験 場 関 係 : 試験場名は、「〇〇農研」「〇〇農試」または「〇〇セ」となるべく簡略に表記する。農研機構*、道総研**といった法人名も略称を用いる。
*農研機構：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
**道総研：地方独立行政法人北海道立総合研究機構

普 及 関 係 : 本所は「〇〇農改」のみとする。支所は「〇〇農改××」として「支所」は表記しない。

市 町 村 : 市町村職員が発表する場合は、自治体名と所属部(部がない場合は課)を表記する。

農 協 系 統 : JA〇〇と表記(各農協が定める略称に従う)。広域連は頭に「JA」を付ける。

農 業 者 : 法人の場合は法人名を、法人でない場合は〇〇農園(または果樹園)として〇〇に姓を入れる。

財 団 ・ 社 団 法 人 : (公財)、(一財)、(一社)のあとに組織名を表記し、研究所あるいはセンターが語尾に来る場合は、それぞれ「研」あるいは「セ」と略記する。